
言語研究センター共同研究

朝鮮語初級用リスニング練習教材の開発

尹 亭仁・永原 歩

近年、語学教育の目的はコミュニケーション能力を身につけさせることに重点が置かれる傾向が強い。本学における朝鮮語教育でも、実際に使える朝鮮語を目指して日々の指導に取り組んでいる。しかし、リスニングの訓練は授業内だけでは十分とは言えず、学生が自宅で授業の予習・復習に使用するテキストに沿った発音・リスニングの練習課題用教材が必要である。

本研究では、単なる音声CDではなく、学習者の困難な点に着目した教材作成のため、学習者が文字を見ただけでは発音しにくい単語やフレーズ、聞き取りが困難な単語やフレーズを授業テキストやハングル能力検定試験の過去問題から収集・分析を試みている。

今年度は、「朝鮮語初級B I・II」の教材として本学の教員が作成した会話用テキスト『文型で覚えるワン・フレーズ・コリアン』の内容に沿ったCD教材を、録音ができる専門機関及びNHKのフリーアナウンサーでもある本学の非常勤講師の協力を得て約100枚作成した。学生に配った結果、反応は上々である。初習言語である朝鮮語の日常会話に基づいた発音とフレーズに慣れることで、最近接することの多い韓国ドラマや映画を理解する上でも役立つはずである。

次年度は、年々受験生が増えているハングル能力検定試験の4、5級に出題される発音問題やリスニング問題を分析し、その語彙リストのCDを作成する予定である。
